

令和2年度人権擁護功労賞



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

法務大臣表彰
(ユニバーサル社会賞)



福祉創造塾

ふれあいの部屋

福祉創造塾ふれあいの部屋
(社会福祉法人柚の木福祉会)



功績

● 障がい者作業所と小学校の生活空間を共にすることによりノーマライゼーションの心を育成

福祉創造塾ふれあいの部屋（社会福祉法人柚の木福祉会）は、志免町立志免南小学校と協力し、差別のない社会にしたいという理念の下、日本で初めて公立小学校内に障がい者作業所「ふれあいの部屋」を開設し、その後、20年以上にわたり運営を行っている。「ふれあいの部屋」では、児童と障がい者が生活空間を共にすることで、子ども達の中にノーマライゼーションの心が育まれ、それが家庭や地域に広まっている。また、障がい者は自分らしく生きることができ、その姿に閉鎖的であった障がい者の親の姿勢も変化させた。さらに、同校教師に対する障がい者福祉研修の実施や、見学を希望する他団体等の視察も受け入れるなど、地道に地域の中での活動にも取り組んでおり、これらの活動は、共生社会（ユニバーサル社会）の実現に向けて顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

人は知らないことには不安を感じます。ここでは障がい者が特別なことではなく、「普通に接することができる隣人であること」を体験で知ることができます。知ることには障がいの有るなしに関わらず、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の第一歩です。これからも志免南小学校のこどもたちと先生方、地域の方々とともに互いを知り、認め合い、包み合える温かいまちづくりに取り組んでまいります。

